

令和 5 年 2 月 15 日 14 時 00 分
近畿地方整備局
(同時発表: 阪神国際港湾(株)、大阪港湾局)

大阪港 DICT において第 3 回・第 4 回 CONPAS 試験運用を実施します

～大阪港で初となる輸出コンテナを対象とした第 3 回試験運用を実施～

～輸入コンテナを対象に規模を拡大した第 4 回試験運用を実施～

阪神港における CONPAS※試験運用については、これまで神戸港 PC-18 で 3 回、大阪港 DICT で 2 回実施してまいりました。

今般、大阪港 DICT において輸出コンテナ(搬入・実入り)及び輸入コンテナ(搬出・実入り)を対象とした第 3 回・第 4 回 CONPAS 試験運用をそれぞれ実施します。

第 3 回試験運用では、大阪港では初となる輸出コンテナ(搬入・実入り)を対象に、試験のために用意したダミーコンテナのデータを用いて、コンテナ搬入情報の事前照合機能の動作確認を行います。

第 4 回試験運用では、輸入コンテナ(搬出・実入り)を対象に、前回の大阪港 DICT 第 2 回試験運用よりも参加事業者数の規模を拡大して、ゲート処理の運用の検証、待機場を活用した CONPAS 運用ルールや動線の確認、ターミナルでの荷役作業へ活用するための CONPAS と TOS(ターミナルオペレーションシステム)の連携の確認を行います。

※ CONPAS(Container Fast Pass の略称)は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることでコンテナ物流の効率化及び生産性向上を実現することを目的として、国土交通省が開発したシステム

<第 3 回試験運用の概要>

1. 実施日: 令和 5 年 2 月 20 日(月)
2. 実施場所: 大阪港 夢洲コンテナターミナル(DICT)
3. 実施内容: 試験のために用意したダミーコンテナのデータ(輸出コンテナ(搬入・実入り))を用いたコンテナ搬入情報の事前照合機能の動作確認(詳細は「別紙 1」)

<第 4 回試験運用の概要>

1. 実施期間: 令和 5 年 3 月 6 日(月)～令和 5 年 3 月 17 日(金)(土日除く)
2. 実施場所: 大阪港 夢洲コンテナターミナル(DICT)(C10 の IN ゲート～待機場)
3. 実施内容: 営業コンテナ(輸入コンテナ(搬出・実入り))を対象としたゲート処理の運用の検証、待機場を活用した CONPAS 運用ルールや動線の確認、ターミナルでの荷役作業へ活用するための CONPAS と TOS の連携の確認(詳細は「別紙 2」)
4. 参加事業者数: ターミナルオペレーター: 1 社、海運貨物取扱業者: 13 社、海上コンテナ輸送事業者: 27 社

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、神戸海運記者クラブ、
神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ、港湾新聞社、神戸経済記者クラブ、
マリタイムデーリーニュース社、海事プレス、港湾空港タイムス

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部

港湾高度利用調整官 たにもと りゅうすけ 谷本 隆介

クルーズ振興・港湾物流企画室長 さど ひでき 佐渡 英樹

Tel: 078-391-3102(直通)

大阪港DICT 第3回CONPAS試験運用	
実施日	令和5年2月20日(月)
実施場所	大阪港 夢洲コンテナターミナル(DICT)
実施内容	- 輸出コンテナ(搬入・実入り)を対象としたコンテナ搬入情報の事前照合機能の動作確認 - コンテナ搬入情報の事前照合機能とは、ドライバーが持つコンテナ搬入票の情報と、ターミナルが持つTOSの情報をコンテナのターミナルゲート到着前に照合する機能 - 今回の試験では複数のダミーコンテナのデータ(エラーとなるデータ含む)を用いて、搬入情報の事前照合機能が適切に動作するか確認

CONPASを活用した輸出コンテナ(搬入・実入り)の流れ

赤字：今回の試験運用で動作確認を実施する項目



※ 実施内容は阪神港において検証中の機能

大阪港DICT 第4回CONPAS試験運用(輸入コンテナ(搬出・実入り))の概要

別紙2

項目	大阪港DICT 第4回試験運用	大阪港DICT 第2回試験運用
実施時期	令和5年3月6日～3月17日(土日除く)	令和4年8月22日～9月2日(土日除く)
実施場所	大阪港 夢洲コンテナターミナル(DICT) (C10のINゲート～待機場)	大阪港 夢洲コンテナターミナル(DICT) (C10のINゲート～待機場)
参加事業者数	- ターミナルオペレーター : 1社 - 海運貨物取扱業者 : 13社 - 海上コンテナ輸送事業者 : 27社	- ターミナルオペレーター : 1社 - 海運貨物取扱業者 : 11社 - 海上コンテナ輸送事業者 : 11社
実施内容	- 営業コンテナ(輸入コンテナ(搬出・実入り))を対象としたゲート処理の運用の検証 - 待機場を活用したCONPAS運用ルールや動線の確認 - ターミナルでの荷役作業へ活用するためのCONPASとTOSの連携の確認 【機能確認事項】 第2回試験運用での機能確認事項①～⑥に加えて、新たに以下の機能を確認 ⑦海上コンテナ輸送事業者を起点としたCONPAS予約取得 ⑧CONPAS予約時点で、予約情報をCONPASからTOSへ送信 ⑨CONPAS専用レーンへの進入可否判定を携帯端末へ表示 ⑩待機場入場時点で、コンテナ番号と車両通し番号をCONPASからTOSへ送信	- 営業コンテナ(輸入コンテナ(搬出・実入り))を対象としたゲート処理の運用・効率化の検証 - 待機場を活用したCONPAS運用ルールや動線の確認 【機能確認事項】 ①搬出予約の事前登録 ②搬出可否情報の事前確認 ③PSカードを活用した入場受付 ④出入管理情報システムとの連携 ⑤CONPAS専用携帯端末による行先表示 ⑥CONPAS専用携帯端末のGPS機能を活用した、トレーラーの位置情報の表示およびゲート前渋滞情報の表示、ゲートアウトの自動判定
予約枠設定	60分枠(基本)、8枠/日、30台/枠(④のみ15台/枠) (①8:30～9:00、②9:00～10:00、③10:00～11:00、④11:00～11:20、⑤13:00～13:30、⑥13:30～14:30、⑦14:30～15:30、⑧15:30～16:30) ※ ①の予約枠は30分枠で設定。ただし8:00からCONPAS専用レーンへ進入可能 ※ ④の予約枠は20分枠で設定 ※ ⑤の予約枠は30分枠で設定。ただし昼のゲートクローズ中もCONPAS専用レーンへ進入可能	60分枠(基本)、7枠/日、15台/枠 (8:30～9:30、9:30～10:30、<u>10:30～11:00</u>、13:00～14:00、14:00～15:00、15:00～16:00、<u>16:00～16:30</u>) ※ ターミナル運営上、下線部の時間は30分枠で設定

※大阪港DICT第3回試験運用は輸出コンテナ(搬入・実入り)を対象に実施